

## 地元農産物&エコープマーク品の「おいしい情報」をお客様に伝えます!

配布エリアは関東1都6県(栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨)で、JA農産物直売所のプロモーション手引きとして好評です。

**概要**

- 旬の青果物をわかりやすく伝え、それらの素材を美味しく味わうため、エコープマーク品の調味料などの関連販売を提案しています。
- お客様にとって、見やすく、選びやすく、手にとりやすい売場づくりを提案しています。
- その他「季節催事プロモーションの運営」などJA農産物直売所の業務をサポートする内容となっております、隔月毎に発行しています。

全農では、地産地消の拠点であるJA農産物直売所で、お客様が楽しく快適に、安心して面白い物をしていただけるよう「エコープマーク品」を通じて、魅力あふれる売場作りを提案しています。今回は関東生活事業所におけるその活動の一端をご紹介します。

**JA農産物直売所への地元農産物販売支援の取り組み**

1. エコープマーク品供給促進マニュアルの定期発行

### 季節・催事のプロモーション

※本誌掲載のエコープマーク品につきましては、エリアによって一部取り扱いのない場合がございます。

#### 夏休みのイベント企画

##### そうめん流し



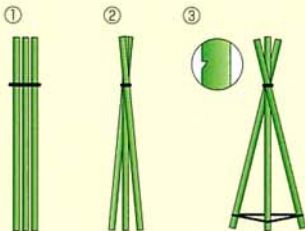
近所の竹藪から切り出した竹で麺を作ってそうめんを流します。準備に手間がかかりますが、涼感が出てお客さまに喜んでいただけます。最近ではそうめんながしキットも販売されています。

##### ●流しそうめん台のつくりかた

流しそうめん台のつくりかたの図解をつくりましたので、ご参考にしてください。皆さんのオリジナルアイデアでもっとも楽しい「流しそうめん」を実施していただけたらと思います。

必要なもの  
竹、針金、ひも

- ①長さをそろえた竹を3本、針金またはひもでしっかり束ねます
- ②ねじるようにしながら脚を開き、台の高さを決めます
- ③脚に切り込みを入れ、3本を固定します。これで台のできあがり
- ④竹を半分に割って節をくりぬき、金ダワシなどでよく洗います
- ⑤そうめんがスムーズに流れるように竹の角度と水の量を調整しながらセッティングしていきます
- ⑥取りこぼしの種をすくうためのざるを出口に設置します



##### 関連商材

- エコープそうめん各種
- エコープつゆ
- エコープ(無着色)おろし本わさび、(無着色)おろししょうが
- エコープ緑茶2000ml、烏龍茶2000ml

JA農産物直売所 青果物・エコープマーク品  
供給促進マニュアル  
2019年 7・8月 3号

7月 8月

目次

1. 旬の青果物

2. エコープマーク品

3. 調味料

4. その他

5. 関連商材

6. 問い合わせ先

▲供給促進マニュアル 7・8月(3号)



▲手書きPOPのノウハウを解説

なお、平成24年度は「売場作り」をテーマにした研修会を随時開催していく予定です。直近では、5月10日にJAビルで、(株)ビーアップ 石川伊津氏を講師に迎え、手書きPOP(※)研修会を開催。関東地区の11JA・4都県本部48名の農産物直売所関係者が参加しました。

POPはお客様に瞬時にわかりやすく商品情報を提供するだけでなく、直売所を元気に活気づける優秀な販促ツールです。3分間でPOPが書けるように、キャッチコピーの考え方

【平成23年度の開催状況】

	日時	テーマ	講師
1回	7月13日(水)	食品表示リスク管理	(株)農水産ID 藤井淳生氏
2回	11月29日(火)	経営管理	農協流通研究所 望月章史氏
3回	2月23日(木)	販売促進(POP総論)	(株)ビーアップ 石川香代氏

2. 各種研修会の開催

お客様に正確な情報提供を行うことなどを目的にJA農産物直売所の関係者を対象に、テーマ毎の各種研修会を随時開催しています。



▲知っている便利なPOPテクニック

から実際に手書きPOPを完成させるまでのノウハウをわかりやすく講師が解説しました。

「地元野菜」と「エコープ漬物の素(なす・きゅうり・キムチ)」を題材にして、お客様の心を動かすキャッチコピーをレイアウトパターンに当てはめることで「POP技法」を簡単に習得できたと大好評でした。

全農は魅力あふれるJA農産物直売所の売場作りを継続して提案していきます。

※POPとは「Point Of Purchase」、「その時」に訴求する「購買時点広告」のことを指します。



▲「ワクワク」感でお客様の心をつかむPOP例



▲レイアウトパターン技法を習得